清流ニューズ

発行所
八王子市子安町1-22-25
清流寺
清流ニューズ編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
http://seiryuji.jpn.org/

平成二十七年度総祈願

本年度教化誓願達成
佛立開導日扇聖人ご生誕二百年慶讃
佛立開花運動第三年度御奉公成就之御願
晨尊三十三回御諱報恩御奉公成就
役中後継者養成・法灯相続促進

九月の御総講日

一日　十時　御修行日
六日　十時　バースデー総講
　　日序上人報恩祈念
　　併　長寿特別総講
十三日　十時　高祖御命日
十七日　十時　開導御命日
廿五日　十時　門祖御命日

於清流寺

十二日　十時　高祖御逮夜
十六日　十時　開導御逮夜
廿四日　十時　門祖御逮夜
三十日　十時　歓尊御命日

於羽村別院

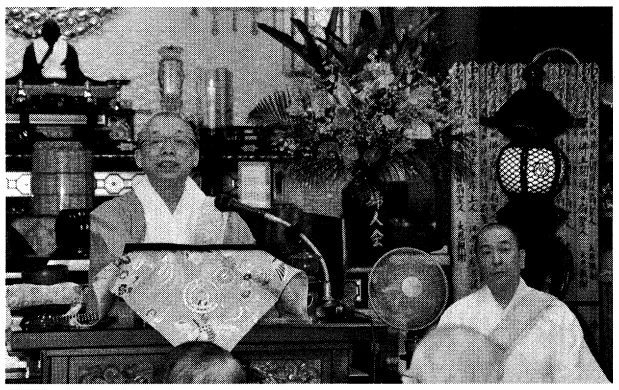
特別行事

十二日　高祖大士龍口ご法難一万遍口唱会
廿三日　秋季彼岸会総回向
廿四日　秋季彼岸会総回向
　　羽村別院

会議

一日　御総講後　役中会議
廿三日　午後二時　参事会
廿五日　御総講後　教区長会議

七月廿六日 開導会盛大に 亀井日魁上人のご奉修



去る七月廿六日、午前十時三十分より、開導聖人御正当会が、麻布光隆寺御高職亀井日魁上人ご唱導の下、盛大に奉修された。

亀井上人は、前泊され、当日にそなえて下さった。御法門では

御教歌

わがちゑを
捨て信心するならば
これをかしこき人といふなり

を引かれて、我流、自分勝手な信心をお誡め下された。

九月十二日 龍口ご法難記念日 一万遍口唱会

十二日、午前六時より十二時迄、高祖日蓮大菩薩の龍口ご法難記念日をお偲びし、教化必成の為の一万遍口唱会が実施される。

弘通年度も残り三ヶ月となり、教化の成績も、もう一歩というところ！

日晨上人三十三回御諱前年のご奉公の円成をめざして一人でも多く一万遍口唱会に参加して熱祷をささげよう！

九月朝参詣強調週間 九月二日～七日 第一連合担当

九月の朝参詣強調週間は、第一連合が担当です。

教化必成、諸願成就のご祈願を込めて各教区は将引徹底の上参詣に気張りましょう。

九月二日（水）元八王子 教区
三日（木）八王子東 教区
四日（金）八王子西 教区
五日（土）八王子南 教区
七日（月）八王子北 教区

長寿特別総講 九月六日 午前十時

今年の長寿特別総講は、六日、午前十時より、例月のバースデー総講日を繰り上げ、日曜日の六日に奉修される。

当山は、七十歳以上を長寿会の該当者としているが、総該当者は、八四〇名、そのうち八十歳廿八名、九十歳五名、百歳一名と、それぞれ、節目の方々に記念品が贈呈される。

当日は、長寿特別総講終了後、会場を食堂に移して祝膳を頂き、壮年会等の余興も計画されている。

九月廿三、廿四日 秋季彼岸会総回向奉修

恒例の、秋季彼岸会総回向が、彼岸中日の秋分の日に午前十時より奉修、奉修後、ご住職による、納骨堂納鎮回向も奉修される。

羽村別院は、翌廿四日の門祖御逮夜総講に併修され、終了後、清流墓苑歴代住職墓前式、墓苑内各家墓所の巡拝回向も奉修、併せてペット霊園の回向もされる。

予告

七五三御礼参詣 十月十八日 高祖会に併修

十月十八日(日)に高祖日蓮大菩薩御会式が奉修される。

高祖会の中で本年度の七五三御礼参詣も言上。

該当者は、早めに寺務所に申込みをして下さい。

日序上人御十七回忌報恩ご奉公
御有志奉納者氏名(その六十九)
(教区順。敬称略。順不同)
二十七年八月十七日現在
合計 九〇〇名、一，七三〇口

本月の御妙判

法悦

釈迦一仏の悦び給ふのみならず。諸仏出世の本懐なれば十方三世の諸仏も悦び給ふべし。我即ち歓喜す諸仏も亦然なりと説かれたれば、仏悦び給ふのみならず、神も即ち随喜し給ふなるべし。

（持妙法華問答抄474）

本門法華経というのは上行所伝のお題目のことで、これを持つというのは受持で、無始已来の言上のときに**「持ち奉る」**という事で、**「持チ奉ルトハ受持也。受持トハ口唱也。」**と示されてありますから本門法華経を持つというのはお題目を唱えるという事に外なりません。そこで、

この御妙判は

「南〇経と唱へる時は釈迦仏のみならず、諸仏も皆悦ばれ、守護の諸天善神も随喜される。諸仏の使命は法華経を説くことであり、諸天善神のつとめは口唱の行者を守ることである。」

という事を示されたのであります。仏様に喜んで頂けるような御信心が出来れば所願成就は疑いのないところであります。

御信者にとって「お題目の口唱」は修行の根本であり、欠かしてはならぬことであり、道の如きものであり、闇夜における灯りの如きものであるということを左の如くお示しであります。

「道ハ暫クモハナルベカラズ、離ルベキハ道ニアラズト。闇夜ニ灯火ハ、ハナツベカラズ。常ニ歩キナレタル道ダニモ灯火ナクテハ人ニ行キ当タリ、久シク通ラヌ道ニハ池モ出来、穴モ掘レタリ。サレバ落入ルアヤマチ必ズアルナリ。大法又カクノ如シ。ローソクヲ懐ニストモ、トモサザル時ハクラシ。受持スレドモ口唱セザレバ利生顕ハレズ。口唱ヲ怠ルハ信行ノユルム也。必ズ災害来タラントス。」

（開導要決）

一向令唱題目というのが末法における法華経の修行ですから、どんなときでも口唱信行は怠ってはならないのであります。口唱に励んで仏に喜んで頂き、口唱をつとめて、諸天のお護りを頂き、**法悦**の日々をおくるのが御信者の日常でなくてはなりません。